

ピアノの技術者、ピアノの構造学の目線でベートーヴェンのピアノ音楽を紐解く！

青山 一郎の目から鱗！

《ベートーヴェンが憧れ、やがて捨てることになったピアノ》



ベートーヴェンが生涯に所有したピアノは10台以上はあったと考えられ、それらの中で3台が現存しています。1803年にパリから届いたベートーヴェンの「エラル」ピアノは、他のピアノと同じようにメーカーからの贈物とずっと考えられていました。ところが近年、エラル社の売掛帳簿が見つかり、このピアノはベートーヴェンが注文したことが判明しました。フランスに憧れて手に入れた「エラル」でしたが、豊かな音量や『ペダル』に満足しながらも、重くて弾きにくい、とベートーヴェンは不満を募らせました。馴染みの工房に改良を依頼しますが、やがて弟のヨハンに譲ってしまいます。しかし、このピアノから「ワルトシュタイン」や「熱情」といった名曲が生まれました。ベートーヴェンの『我がまま』が、ウィーンのピアノ産業と音楽の隆盛につながり、さらには現在のグランドピアノのアクションの完成にまで寄与しました。まさに『目から鱗』の話、です！

今回のレクチャーが、ベートーヴェンの楽譜や資料等から、当時のピアノの機能や構造を理解していただき、より楽しい演奏や鑑賞の一助になれば幸いです。

ピアノ演奏:高橋孝輔

愛知県立芸術大学大学院修了後、ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学卒業、ハンガリー国立F.リスト音楽院にて研鑽を積む。現在、同志社女子大学芸学部音楽学科嘱託講師。公益財団法人日本ピアノ教育連盟会員。



【講師】青山一郎●ピアノ調律師

大阪市生まれ。日本楽器大阪ピアノ技術研究所卒業。1970年日本楽器大阪支店ピアノ技術課に入社。1979～83年西ドイツDöll社(Hannover)に招聘され渡欧。コンサート等の調律業務に携わり、GrotrianやSteinway & Sonsの工場研修にも参加。また、イタリア・アッシジ音楽祭を4年間専属調律師として参画。帰国後、大阪音楽大学 ザ・カレッジオペラハウスを開館1989年以来担当。1997年から20年間、同大学で「ピアノ構造論」の講義を受け持つ。定年後も同大学の附属音楽院や他大学、兵庫県立芸術文化センター等でもレクチャーを行なっている。現在、(株)ヤマハミュージックジャパン、ピアノ技術課に所属。

【参考資料】(2021年出版著書) 出版社:アルテスパブリッシング

1冊でわかる ピアノのすべて 調律師が教える歴史と音とメカニズム

販売価格:2,420円(税込) ※当日会場でも販売いたします。



2024.10/1 (火)18:00(17:30開場)

日本基督教団 天満教会2F礼拝堂

地下鉄堺筋線・谷町線「南森町」駅②④出口から南森町交差点を南へ徒歩約3分(3つめの信号右折すく。「カレー屋」の南向い)

聴講料:一般¥2,000 / 関西音楽人クラブ会員¥1,000(自由席)

前売 ■ -子テ (Lコード:51862) <http://l-tike.com/>

主催・お問合せ ■ NPO法人関西音楽人クラブ

TEL : 06-6232-8090 / e-mail : bravokansai@gol.com

